

天明六

新建立
忠臣藏
天道大福帳

政森
三美
三画作
冊

13
2946
5





へ13
2946
5

大福帳
天明六年

昭和十年
二月二十二日
東京

発端

ともく天の地はうきをいし平をあらりのあらさるるを
 何れもあまのまじりのしるしをいしあひかりあも
 びりきんをいしあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 抄をいしあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 天の地と抄をいしあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 さんど天と抄をいしあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 さもまじりあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 へいしあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 お茶のまじりあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 もあまのまじりあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 おまのまじりあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 ひまのまじりあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 おまのまじりあまのまじりあまのまじりあまのまじり
 おまのまじりあまのまじりあまのまじりあまのまじり







あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは

あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは

あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは



あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは

あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは

あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは

あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは

あはれはまゐりのせ
けりてはなは
あんなりてはなは
あんなりてはなは



ちうまんとく
 ちうまんとく
 のりおてや
 まいまい
 せいせい
 せいせい

あんなやうな
 事のない
 ことある
 ことある



とれいさんぐさ
 あいせんでん
 さうちん
 したとれい
 かわらうら
 せいせい

ちうまんとく
 ちうまんとく
 ちうまんとく
 ちうまんとく
 せいせい

ちうまんとく
 ちうまんとく
 せいせい

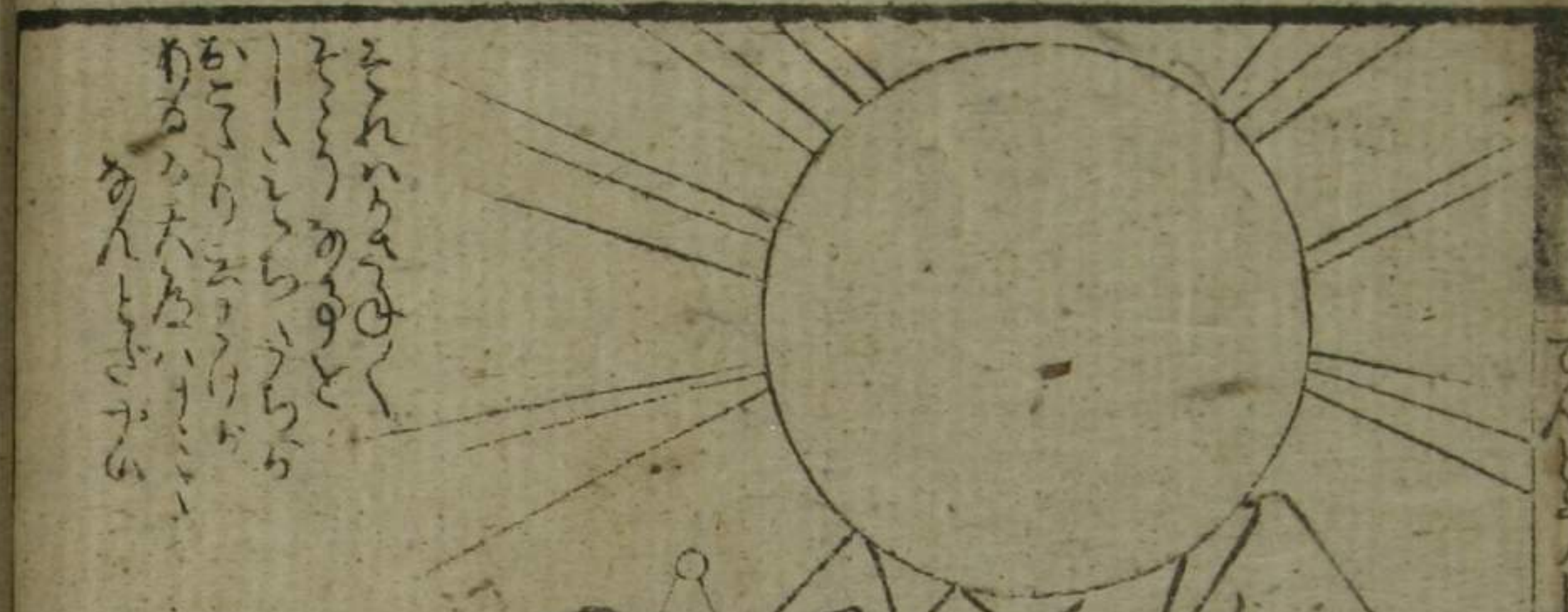


あれま
けてん
とらふ
ぐわき
うのし
やいこの
とらふ



いれく
いれく
いれく
いれく
いれく

あ
あ
あ
あ
あ



あ
あ
あ
あ
あ



あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ

あ
あ
あ
あ
あ





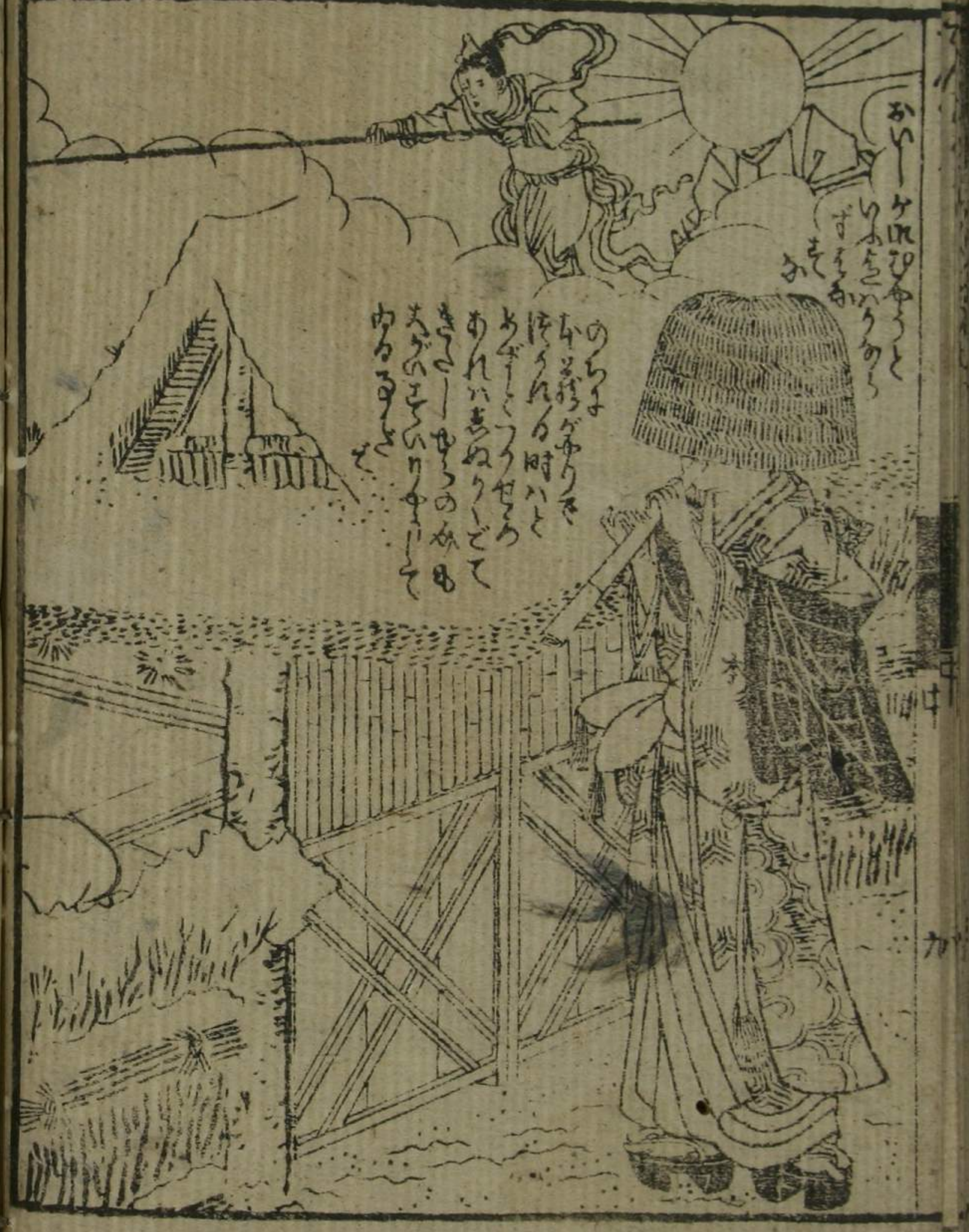
いけ
いんも



いけ
いんも
いんも
いんも
いんも



ついで
いさむら
あ



のらま
かまの
あざとつらせ
われいあぬく
きりやうのみ
あざのまわり
ゆりま

おひ
けい
り
す
あ



かさねて
あしどて
かん
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

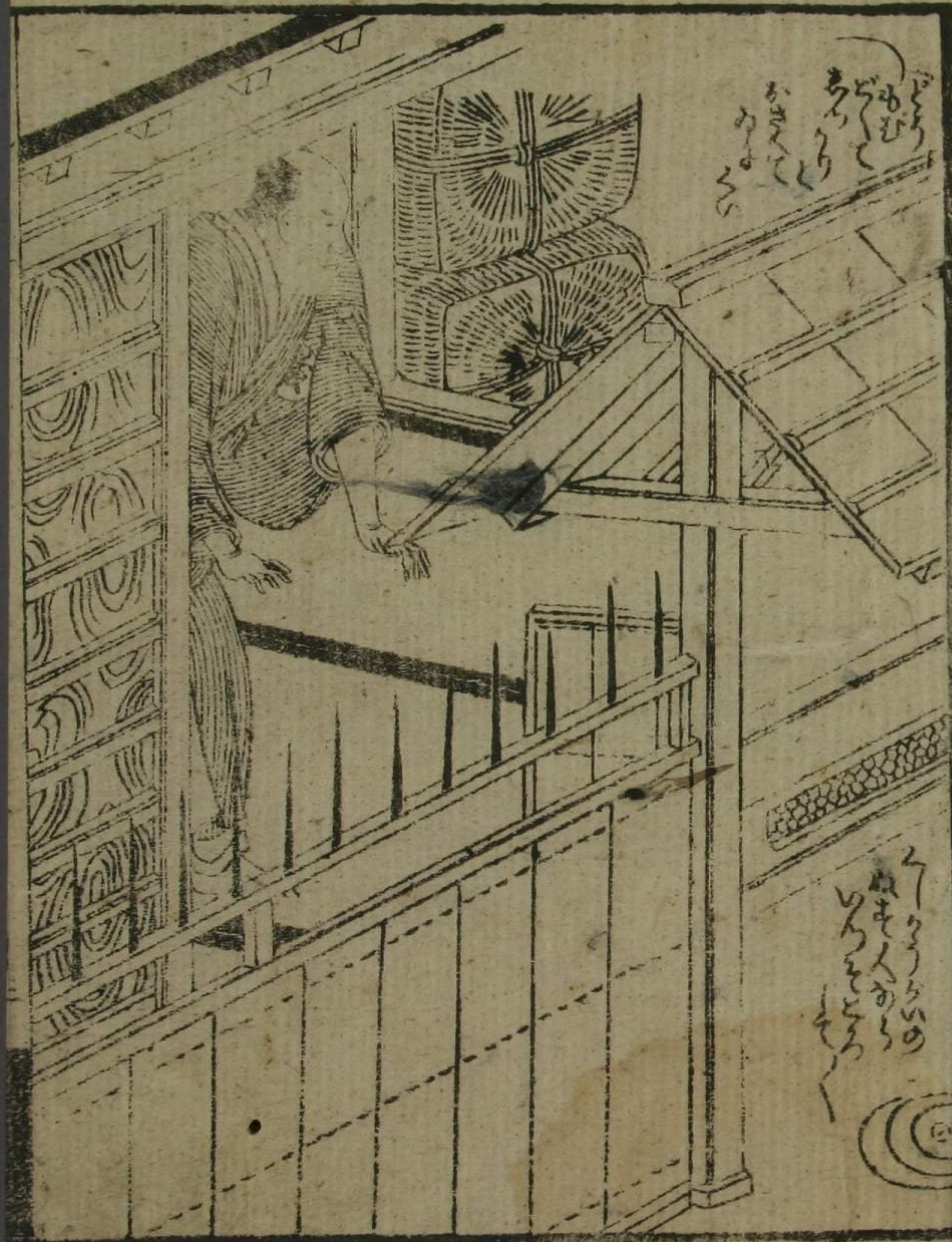
あひま



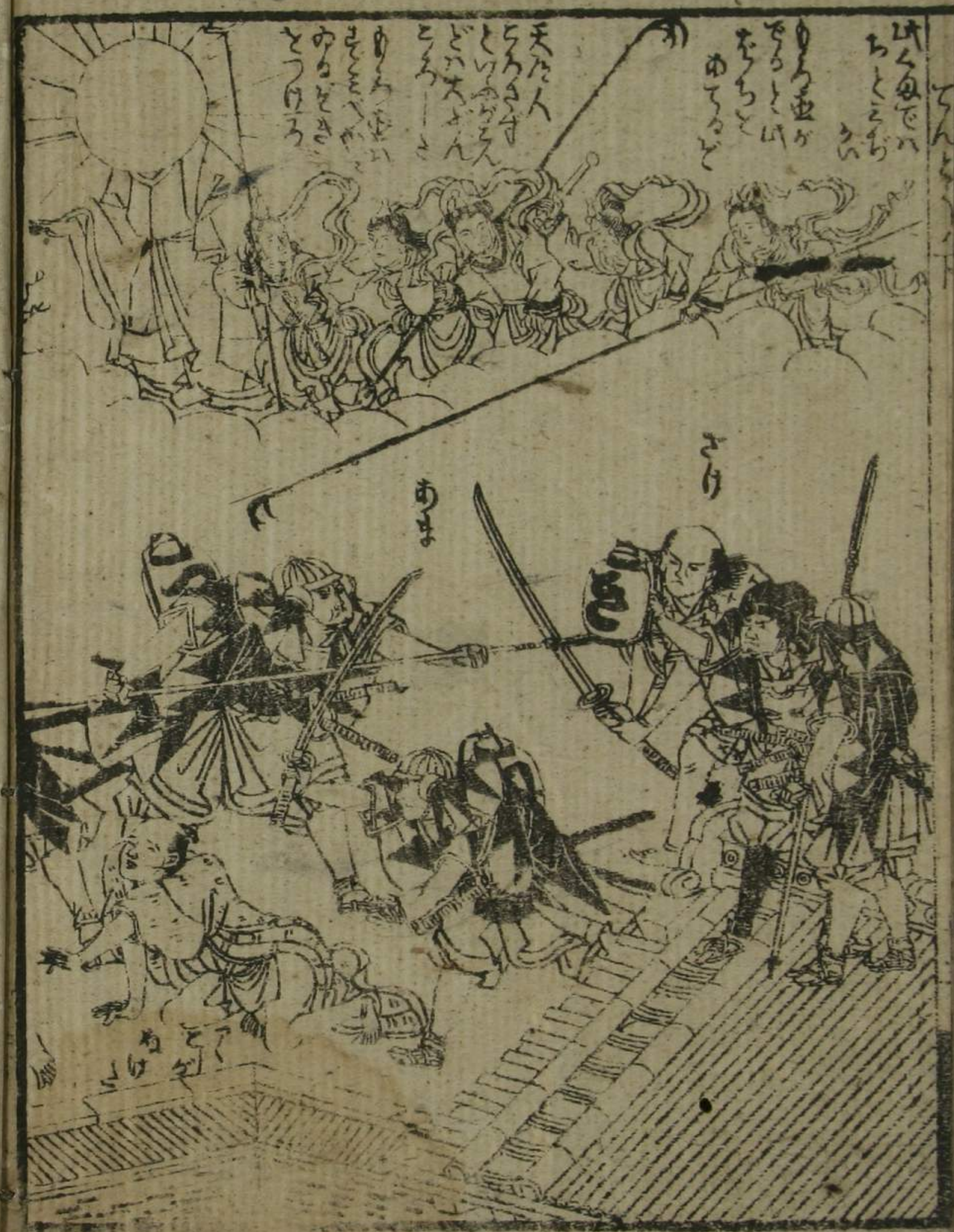
あつそ
の
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに

あつそ
の
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに
ついでに





あつちの
まはる
かき
ひ



二十一人の天子切
 くの後天乃の成
 りしはいつくまきと
 云わたりてつくと
 もさかすむれが
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり

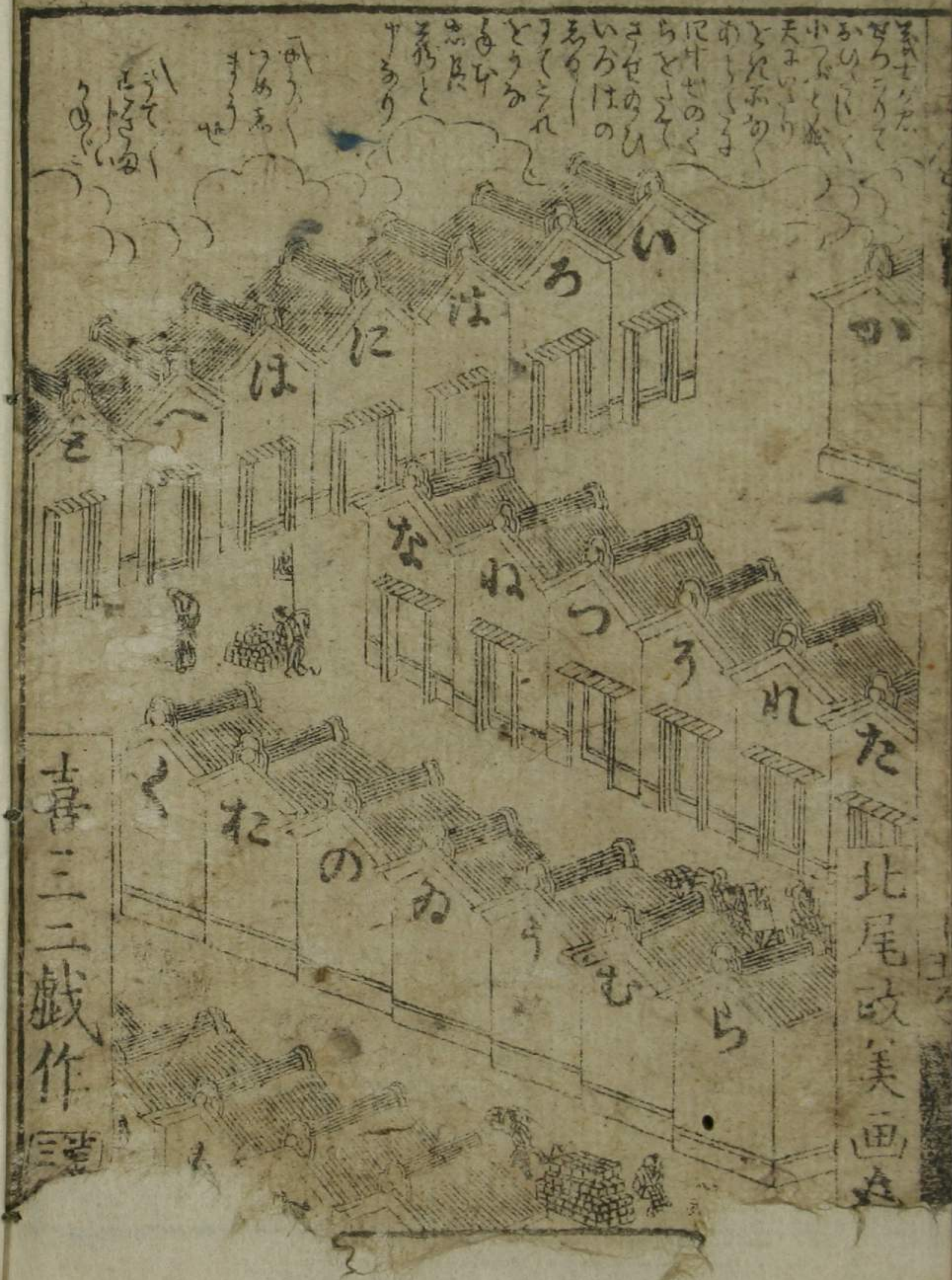


二十一人の天子切
 くの後天乃の成
 りしはいつくまきと
 云わたりてつくと
 もさかすむれが
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり



二十一人の天子切
 くの後天乃の成
 りしはいつくまきと
 云わたりてつくと
 もさかすむれが
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり

二十一人の天子切
 くの後天乃の成
 りしはいつくまきと
 云わたりてつくと
 もさかすむれが
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり
 ちんしん人にと
 さんとのつと
 十人といはれり



天正の御
 徳川氏の
 御徳に
 御礼を
 言ふに
 御座り
 今
 此の御
 徳に
 御礼を
 言ふに
 御座り

北尾政美画

喜三二戯作

